

ちか　み　らい　い　ま　に　ん　げ　ん　し　ご　と
近い未来では、今まで人間たちがしていた仕事を
す　べ
全てロボットたちがやってくれます。

に　ん　げ　ん　な　に
では？人間は何をするの？



う　い　る　す　ん　あ　た　ま
ういるすんは頭をかかえています。

ひと はな ごえ
人の話し声がしたので、ういるすんは声のする方へ
い
行きました。

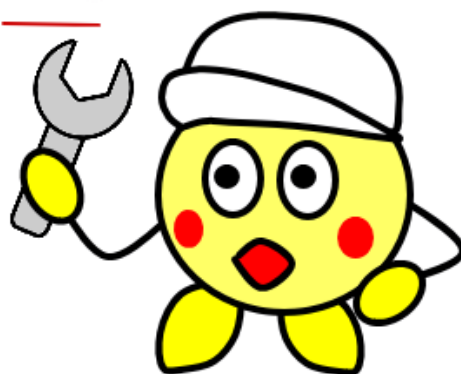
そこでは、はろくんともくぺいが^{はなし}話をしているよ。



はろくん

せつけいず み
この設計図を見て
つく
作れるかな？

つく
作るよ



もくぺい

ロボットたちが^{はたら こうじょう こうじょうちよう}働く工場の工場長、

^{かれ なまえ}彼の名前はもくぺい。

もくぺいはアイデアを^{かたち}形にして^{つく あ}作り上げることが
^{しごと}お仕事です。

もくぺいは^いういるすんに言いました。

「“ない”から^{つく だ}“ある”を作り出すこの仕事は
^{さいこう たの}最高に楽しいのさ！」

ういるすんはさらに^{あたま}頭をかかえています。

「^{なに}何もないところから^{なに で き}何か出来るの??」

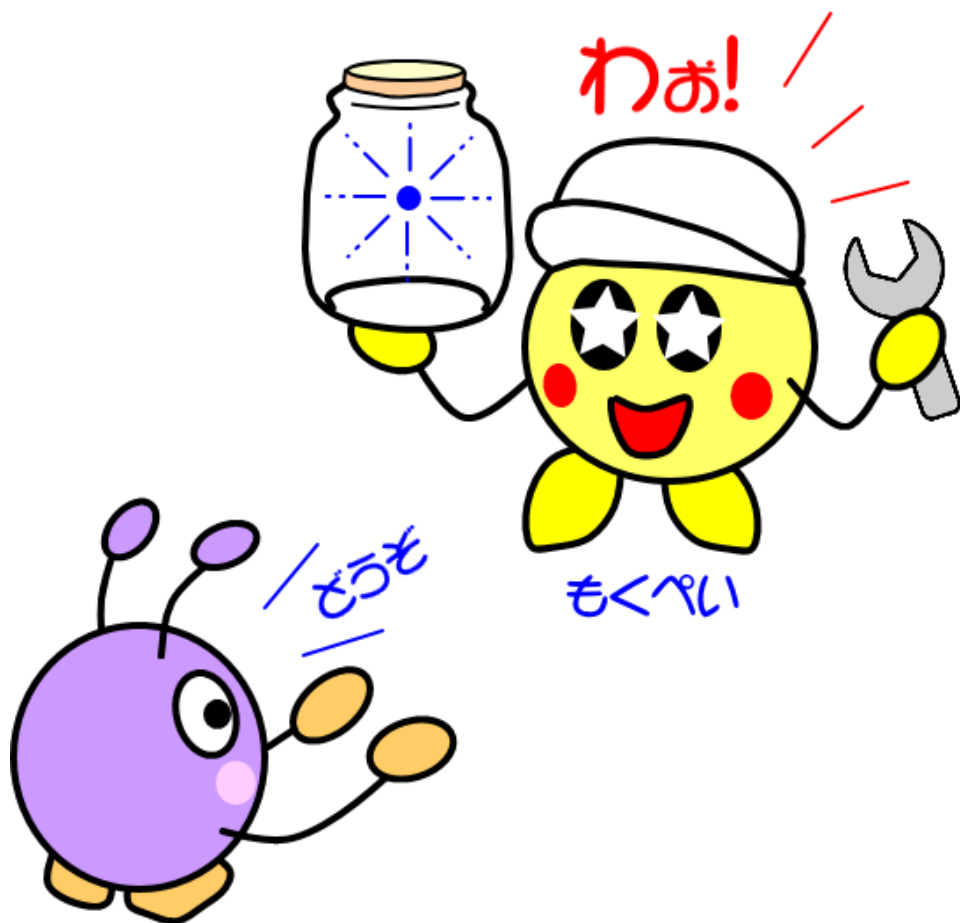
^{こんしよく}魂職 その4

もくぺい ^{せいさく せいぞう}目皿＝製作、製造、システム

ういるすんはもくぺいに、かんかん^{たの}に頼まれた

ぶっしつ^{わた}
「物質」を渡しました。

もくぺいはその物質^{ぶっしつ}を見て^み大^{おお}喜^{よろこ}びです。

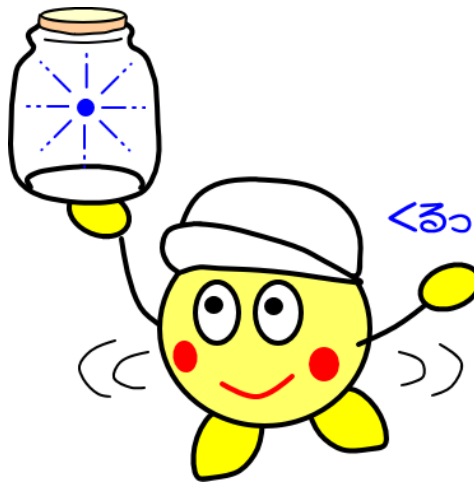


もくぺいはうれしそうに^い言いました。

「これで、^{いま}今まで^みだれも見^みたことがないものが
作れるよ！」

「^よ世^{なか}の中はもっと^す住みやすく、そして、

^{ひとびと}人々がもっと^{しあわ}幸せになれるよ！！」



「もう少し^{すこ}広い^{ひろ}工場^{こうじょう}と、^{ひと}人の^{ひつよう}エネルギーが必要だ。

ういるすん、^{まち}街^{なか}の中を^{さが}探^{さが}してみて。」